

技術資料 1 土壤灌注

土壤灌注は、樹幹下を中心に 40cm～50cm 間隔で深さ 30cm～60cm、希釈液を高圧注入、根の伸長予測範囲で灌注跡の孔には専用土壤改良材を充填しています。

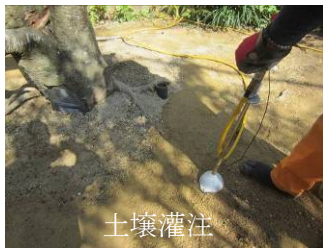


設備動力噴霧機

植物性ミネラル等



希釈液肥



土壤灌注



灌注孔



土壤灌注



土壤灌注



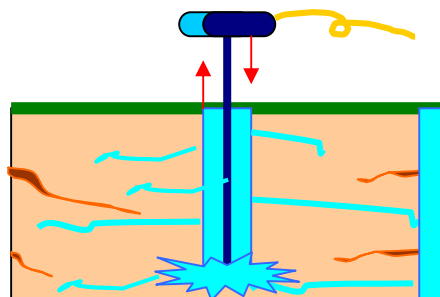
灌注孔



資材充填

灌注穴は、改良材を投入する場合、灌注針を引き抜くときに回して穴を広げる。挿入する専用土壤改良材は、土壤の条件、樹勢等々により配合を変えます。景観を考慮して、灌注穴を目立たなくする方法、隠す景観仕上げ方法もあります。

深さは約 30cm～60cm、間隔は 40cm～50cm で希釈液灌注液を対象木の土壤に高圧(●MPa)で注入、水で土壤攪拌をします。高圧水は、根を傷めない特徴があります。



希釈液 植物性ミネラル等

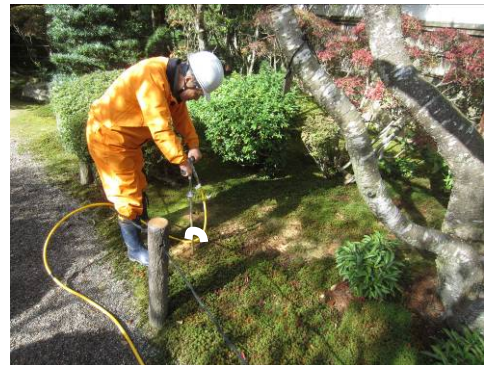
通常 400 倍希釈、樹勢が著しく衰退している場合 800 倍に希釈する

技術資料2 土壤灌注

土壤灌注と土壤改良材投入



土壤灌注作業



土壤灌注作業



専用土壤改良資材



土壤灌注穴に専用改良材投入



投入完了



施工完了（景観仕上げは別途工法）



検証（灌注孔に専用土壤改良材を投入の場合）

2年後土壤灌注穴部分に筒状に伸長した根、細根も多く施工効果が出ている。

※灌注により土壌の膨軟化、雨水の流入が図れるが、専用改良材を入れるとより効果が持続。